

Weekly Bulletin

SHIZUOKA NORTH ROTARY CLUB

静岡北
ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
例会場：ホテルアソシア静岡 TEL.054-254-4141
事務所：〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12
静岡安藤ハザマビル5F
TEL.054-254-5611 FAX.054-221-0515
◆http://shizuoka-north-rc.jp/
◆E-mail : shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp



会長 吉田 空玄



会長 吉田 空玄
副会長 小野田 貴
幹事 小野田 貴
副幹事 青木 文洋

2020-21年度 RI会長 ホルガー・クナーク / Rotary Opens Opportunities

2020年12月1日 [火] 第1411回例会 天候：☀️

司会進行 小野田 貴幹事

開会点鐘 吉田 空玄会長

ロータリーソング 小林 勇貴会員
「君が代」「奉仕の理想」

ビジター紹介 大本 茂会員
ゲスト卓話 静岡大学 特任教授 藤巻 義博様

出席報告 大本 茂会員

月日	会員数	出席数	欠席数	メイクアップ	改正出席率
11/10	32(31)	27名	4名	—	87.09%
11/17	32(30)	24名	6名	—	—
12/1	32(31)	27名	4名	—	—

本日の例会案内 (第1412回例会)

12月8日(火)
年次総会「次々年度会長・幹事選出」
会員卓話「石垣徳夫会員⇒米山記念館訪問報告」
例会終了後 役員・理事会開催

次回のプログラム

12月15日(火)
ゲスト卓話
SBI ベネフィット・システム(株) 藤田 武治様
「日本の年金情勢と確定拠出年金について」

会長挨拶 吉田 空玄会長

コロナウイルスは野生コウモリを発生元に第二媒介ハクビシンがサーズ、ラクダがマーズ、センザンコウが新型コロナウイルスとなります。

マスクの防護効果は布マスクでは17%、サージカルマスクは47%、N95マスクでは79%、の効果があるようで非常に有効な事が分かります。

例え陽性になったとしても大量のウイルスを吸い込むと重篤な症状になり、マスクによりその量が少なく軽症で済むようです。

フェイスシールドの効果は本人の防御には役立ちますが他人に対する効果は殆どありません。

ぜひマスク着用をおすすめ致します。

さていよいよワクチン摂取が始まろうとしておりますが、今回の認証ワクチンは遺伝子型で人類にとってこれも新型であります。

ファイザー製薬はRNAウイルスにスパイク状の遺伝子を組み込むワクチンを1年足らずで開発しました。

トランプ大統領が年末までにワクチン接種が出来ると言ったのは根拠がありファイザーがマーズウイルス用にRNAワクチンを開発し途中まで完成させていたからです。

マーズは世界的なパンデミックにならず治まったので研究は未完成ではありましたがかなり進んでいたと言う事です。

アストロゼネカがオクスフォード大学と共同で開発したウイルスベクターは偽物のウイルスを組み込むワクチンです。

日本の大阪大学が開発中のワクチンはDNAにくみこむワクチンであります。

いずれにせよこの遺伝子レベルのワクチンは二次作用が人類にとってまだ未知数なので疫病専門医は『私は絶対に接種致しません』と言う事の様です。

アメリカ、英国で先にワクチン接種が始まりその結果を見て日本で何か月後に一般接種が始まると」思いますのでその時どうするかお決めなるとよろしいかと思えます。



幹事報告 小野田 貴幹事

・RLI委員会から鈴木勉会員に委嘱状が届いており授与されました。

委員会報告

職業奉仕委員会 鈴木勉委員長
・職場見学会のご案内
令和3年1月26日(火) 山崎工業株式会社

おめでとう 小野田 貴幹事

メモリアルデー
創立記念日/12月1日 吐前 敏孝会員

スマイル 高橋 大助会員

■吉田 空玄会長 ■小野田 貴幹事
藤巻教授、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

■森崎 和敏会員
藤巻教授、本日はようこそお越しいただきました。教授の実績と経験に基づく卓話を楽しみにしております。

■大橋 利昭会員
創立30周年記念誌が出来上がりました。皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。

■高橋 大助会員
30周年記念誌完成おめでとうございます。静岡北RCの歴史を感じる事ができました。先月はリフレッシュ休暇9連休もいただきました。今月はしっかり参加します。

■大橋 知文会員
師走になりました。コロナで始まりコロナで終わり、来年も大変な年になりそうです。年末恒例のFM-HI年末スペシャル番組の提供締め切りが12月4日です宜しくお願ひします。

ゲスト卓話

アフターコロナで生き残り、飛躍する企業の変革シナリオ

静岡大学 特任教授
藤巻 義博様



静岡市は急激な人口減少に直面しており、国・県よりも、20年早い1990年の739,300人をピークに人口減少に転じています。2012年には全国の政令指定都市中 最下位となりました。静岡市の人口減少は行政サービスの維持や社会保障費の確保に深刻な影響を及ぼし始めています。特に生産年齢人口の減少が大きく、それにより事業所数も減少しています。今後静岡市のこれ以上の経済減速を抑えるには、

労働生産性の向上、新たな仕事の仕方と多様性の導入が必要になって来ます。

新型コロナのパンデミックは、人々の価値変動や行動変容をもたらし、社会や経済のパラダイムシフトを起こし、仕事の仕方を変えました。しかし新型コロナを江戸時代の黒船と考えれば、ちょんまげや帯刀をやめスーツを着た近代社会への幕開けのチャンスと考えることも出来ます。緊急事態宣言は移動や出張の禁止から「越境EC」や「ライブコマース」といった新たなグローバル化を作り出しました。在宅勤務からオンライン化、デジタル化(DX)の重要性を知り、地味で陰に隠れていた「エッセンシャルワーカー」の存在が如何に重要だということを教えてくれました。それはまた「本質回帰」に繋がり、効率一辺倒のマネジメントやサプライチェーンの見直し、SDGs/ESGの推進に繋がりました。これらの新たな動きを更に推進するためには、従来の考えや体制では限界があり、新たな気づきが必要になって来ます。その気づきには様々な考え、価値観の受け入れ、つまり多様性の受け入れが重要になって来ます。従来のガラパゴス的な発想から、多様性経営を導入するために外国人の活用があります。外国人には日本人に無い発想や視点があります。今や全世界を動かしているアメリカのGAFの創業者はすべて移民です。多様性から生み出したiPhoneのビジネスモデルは世界を席巻しています。日本でも多様性は力であることは、昨年のワールドカップで実感しました。チーム30人中13人が外国人だった混成日本チームは、史上初めての予選リーグ進出という大きな快挙をなし遂げたのでした。多様性を活かした混成日本チームの躍進でした。

政府は10年以上前から高度外国人と留学生の受け入れを奨励してきました。しかし折角わざわざ日本を選んで来た留学生の7割は、日本で就職できず泣く泣く国に帰って行くのが現実です。そこには日本企業の外国人に対する「日本人化の要求」や「村意識」が大きな壁として存在してきました。

しかし一方で最近の調査では、この先の人口構成から将来の管理職が減り、経営や顧客対応に大きな支障が出ることから 少しずつ外国人を採用する様になってきています。現在既に外国人を雇用している企業は40%、将来雇用すると答えた企業は60%にのぼります。また既に管理職に外国人を活用している企業は現在15%、将来は30%との回答があります。うちはグローバル化に関係ないという方も、ある日取引先を訪問したら外国人管理者が出て来て、英語でディールをやられて退散してきた、ということも起こりうるわけです。

そこで外国人活用のメリットは少し理解できた、しかし社内の理解や受け入れ体制が心配という企業はまだ多いと思います。そういう場合2週間程度のインターンシップをお勧めします。企業の経営課題、例えばデジタル化、社内活性化、グローバル化等を解決するトリガーを見つける為にテーマを設定して行うことも有効です。静岡大学では浜松市、経済同友会等と産学官の協力をしてインターンシップ(インタラクティブ・インターンシップ)を行い、優秀な留学生の就職に繋げる成果を出しています。心配していたが、やってみると社内の刺激にもなり、受け入れも想像して程大変ではなかった等の声が多く聞かれました。ぜひ一度インターンシップをして外国人留学生がどんなものか経験してみてください。

閉会点鐘 吉田 空玄会長

[担当:大橋(利)]